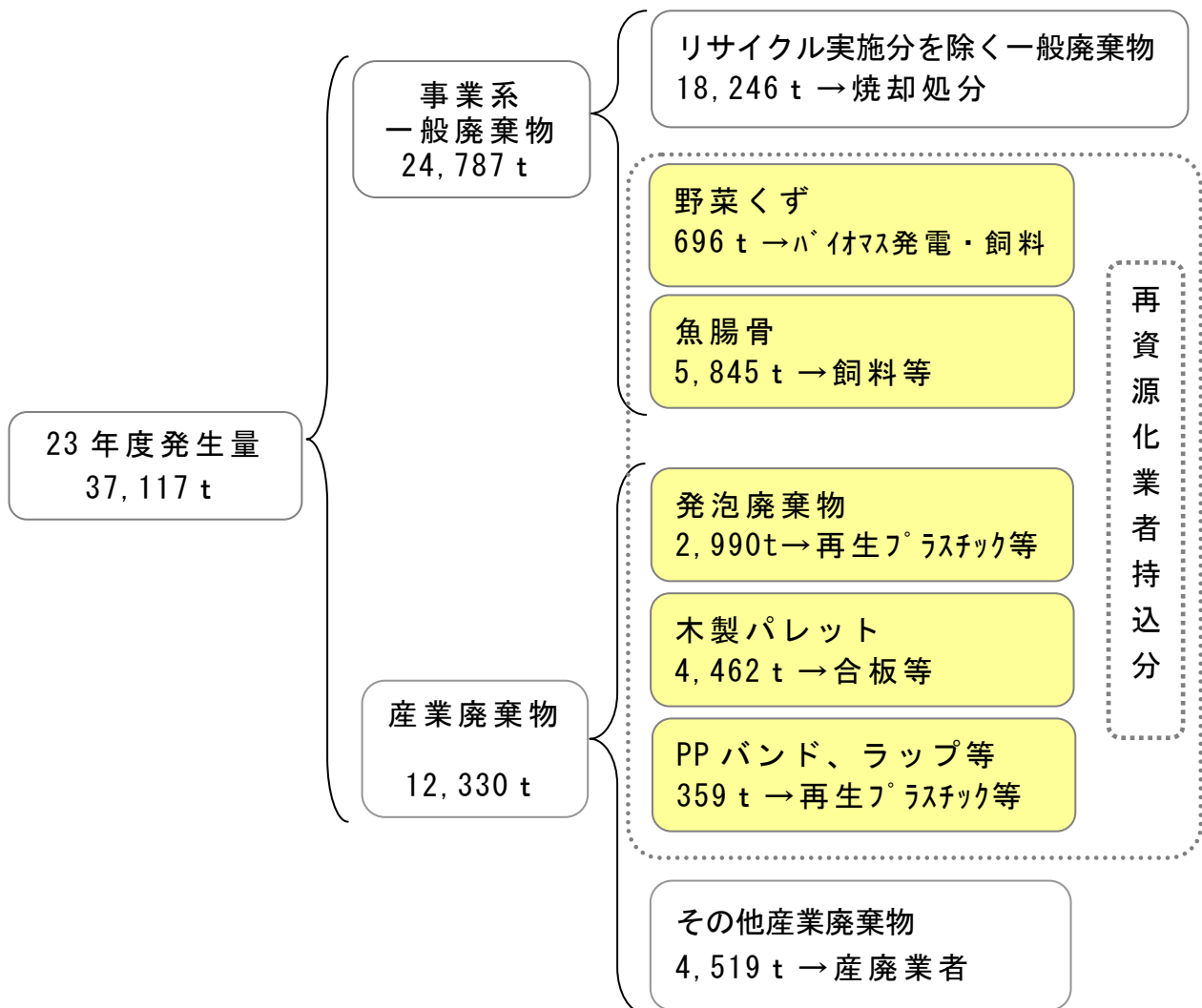


東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



○一般廃棄物は24,787トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは全体の約74%、18,246トンです。野菜くずは696トン、魚腸骨は5,845トンが再資源化されています。

○産業廃棄物は12,330トンであり、発泡廃棄物2,990トン、木製パレット4,462トン、場内で分別されたPPバンドやラップ等359トンが再資源化業者に持ち込まれています（その他、段ボールや缶等もほぼ全てが再資源化されています）。これらを除く4,519トンは産業廃棄物処理業者へ持ち込まれ、金属等が分別されて再資源化されたり、サーマルリサイクル（熱回収）されたりしています。

○市場で発生した37,117トンのうち、場内で分別し再資源化業者に持ち込まれているものは、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の14,352トン（全体の約39%）です。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。